

「救急車の正しい利用方法について」

救急隊はタクシーではありません。病院前救護を担う医療職です。必要な観察・処置を実施し、病院ですぐに治療を開始できるように命を繋ぎます。本当に救急車が必要かどうか考えてみてください。

① このような時はすぐに救急車を呼んでください。

- ・突然の激しい頭痛
- ・意識がない、おかしい、けいれんを起こしている
- ・急にふらつき立ってられない
- ・顔半分がしびれたり、ろれつがまわりにくい
- ・片方の手足に力が入らなくなったり、しびれがある
- ・急な息切れ、呼吸困難
- ・突然の胸痛
- ・突然の激しい腹痛
- ・血を吐いた

② このような呼び方は間違っています。

- ・今日は通院日、入院日だし、早く診察してもらえと思ったから
- ・車がないし、タクシーだとお金がかかるから
- ・それほど痛くないけど心配だから
- ・不安だから、話を聞いてほしいから

③ タイミングの悪い呼び方。

- ・夜中に救急車を呼んだら近所迷惑だから、朝まで我慢した
- ・動けなくなり1日様子をみたが、良くならないので救急車を呼んだ

④ 救急車を呼ぶか迷った場合。

○「香川県救急電話相談」へご連絡ください。

●一般向け（15歳以上）救急電話相談

☎087-812-1055

●小児（15歳未満）救急電話相談

☎#8000

☎087-823-1588

看護師が相談に応じ、必要に応じて医師がサポートします。（毎日19時～翌朝8時）

※あくまでアドバイスで診察・治療ではありません。

○スマートフォンをお持ちの方は、全国救急受診アプリ「Q助（きゅーすけ）」もご利用になれます。

急な病気やケガをしたとき、症状の緊急度を素早く判断するために、消防庁が提供しているアプリです。当てはまる症状を画面上で選択していくと、緊急度の目安がわかり、必要な対応が表示されます。緊急度が高いと判定された場合は、アプリから119番に電話できます。

